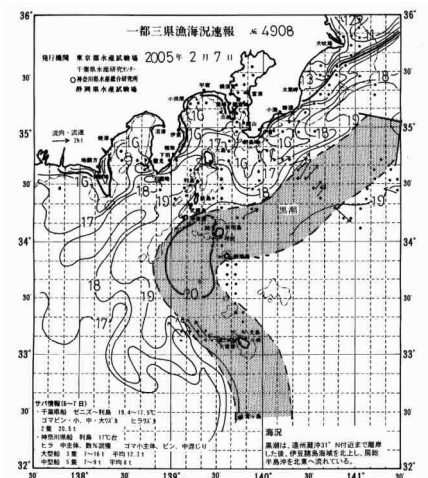


概況(図1, 表1)

房総丸(110ト)で沿岸定線観測を行った。2/3・4は北西の風が強かったため、外房海域の沿岸域と銚子・九十九里海域の測点を観測した。2/6~8は外房海域を観測し、沖合域では第1次カツオ漁場一斉調査を実施した。冬型の気圧配置が一時的に緩んだが、沖合では北~東の風が強かった。2/7の海況は図1のとおり。房総半島沖における黒潮の離岸距離は「平年並」であった。



水温(表2, 図2・3・5)

海面は13~19で、100m深は14~19, 200m深は12~18であった。外房と銚子・九十九里海域は「平年並」~「やや高め」であった。海面水温の平年偏差は概ね正の偏差で、九十九里沖の観測点で負の偏差がみられた。太東岬沖では暖水が沿岸へ張り出していた。

塩分(図4・5)

海面は34.3~34.8, 100m深は34.6~34.9, 200m深は34.5~34.8であった。太東岬沖で34.7以上の高塩分水が沿岸に張り出していた。

流況(図1・2)

20~40マイル沖で北東方向へ2ノット以上の流れが観測された。太東岬南方とミゾ場周辺では西方向への流れがみられた。また、黒潮強流帯の沖合域(太東岬南東方60マイル付近)に時計回りの渦がみられた。

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2005年2月)

基点	方向	距離(マイル)	階級
野島崎	南東	35	平年並
太東岬	南東	40	-
犬吠崎	南東	(35)	平年並

* (数字)は海洋速報(海上保安庁海洋情報部)より

表2 水温の評価(2005年2月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	17.3	1.0	平年並	16.6	0.8	平年並
50	17.10	1.28	やや高め	17.71	1.05	やや高め
100	17.03	0.54	やや高め	16.15	1.34	平年並
200	15.83	2.22	やや高め	16.04	2.11	やや高め

*水温は各海域の評価点の平均値

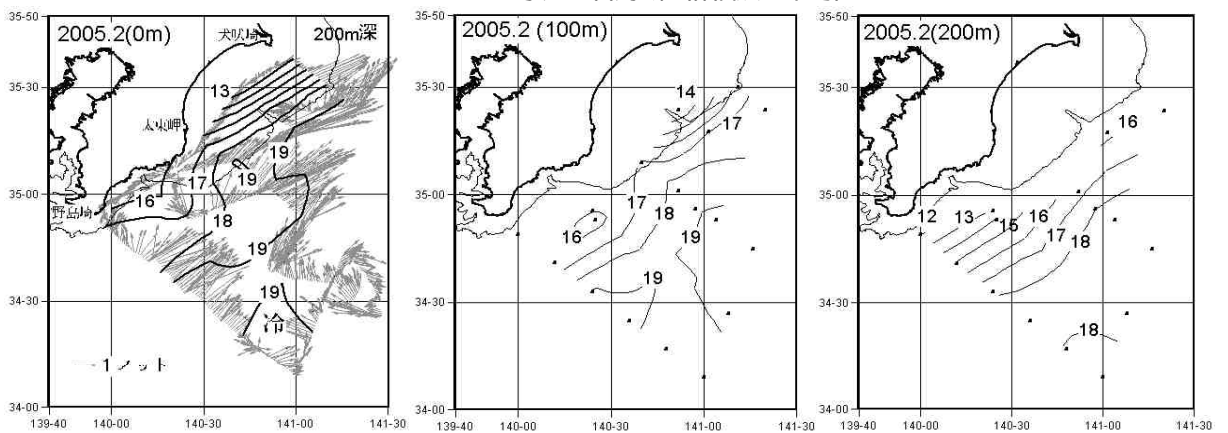


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

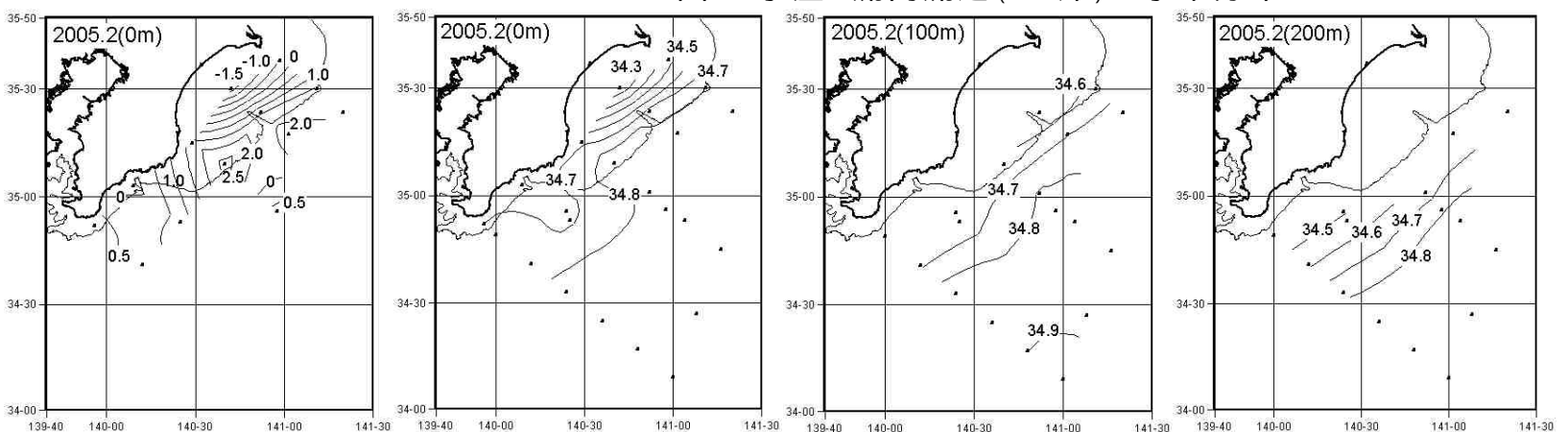


図3 水温の平年偏差

図4 塩分の水平分布

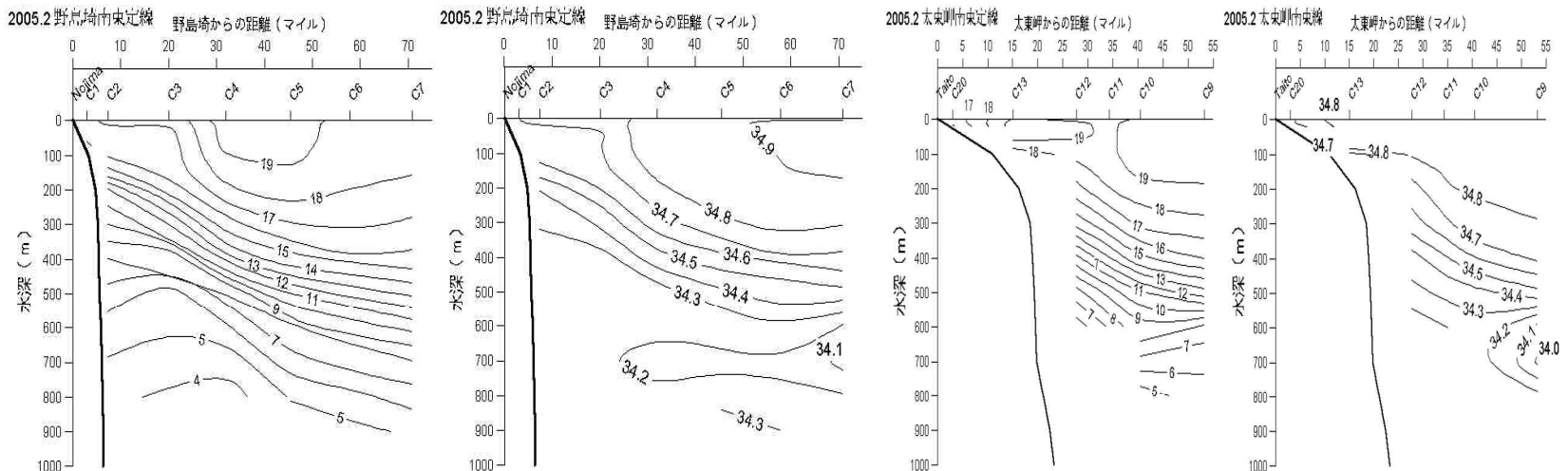


図5 水温と塩分の鉛直分布